

# 7月の野菜の見通し

令和2年6月30日現在  
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	8,790	平年 並み	8,516	76	125%	100	1	0.0%	北海道産は前年の単価安の影響で作付け減少。青森県産は4月の低温により、作柄が良くない。全体量は平年よりやや少ない見込み。単価は前年と比較して約2割高く、平年並み。
キャベツ	16,630	平年 並み	16,109	72	104%	79	1	0.0%	群馬県、岩手県産は前年並みの作付けで、生育は順調。全体量は前年・平年並みで十分であることから、荷動きは鈍い見込み。単価は前年をわずかに上回るものの、平年と比較して若干安い。
ねぎ	3,680	平年 並み	3,708	353	99%	370	6	0.2%	茨城県、千葉県産の生育は概ね順調だが、やや細い傾向。全体量は前年・平年並みの予想。中旬から東北、北海道産が増えて、相場は弱含みの展開か。単価は前年・平年と同水準。
きゅうり	6,595	平年 並み	7,092	320	94%	303	441	6.7%	福島県、岩手県、秋田県産の作付けは前年並み。5月の高温や干ばつにより生育が遅れている。全体量は平年を下回り、少なかった前年並みの見込み。7月は主力産地が関東から東北に移るため、6月下旬から7月上旬は端境期となり数量が減少する。中旬以降は東北産が最盛期を迎えるため、数量は増加し、相場反転が予想される。単価は前年と比較して若干安く、平年並み。
トマト	7,312	平年 並み	8,194	308	101%	306	296	4.0%	北海道、青森県、岩手県産の作付けは前年並みだが、4月の低温により作柄は良いとは言えない。全体量は平年を下回る見込み。関東産の出荷が落ち着き、7月上旬までの相場は堅調に推移する。中旬以降は北海道、東北産が増加し、相場は安定する見込み。単価は前年、平年並み。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)